

若杉 和枝さん 「安心して子供を産み育てられる環境をつくる。」

今日は福岡市南区、井尻商店街において、個人事業「Ray-Gina AKIRA」（レイジーナアキラ）を起業された、若杉和枝さんからお話を伺います。若杉さんは情報システムの専門学校を卒業されたのち、IT企業に就職、最初はプログラマーとして、また最終的にはプロジェクトリーダーやマネージャー、コンサルタントを務められました。

【起業の経緯】

（以下、敬称略）

Q1 若杉さんが起業した『託児付きコワーキングスペース』とは何ですか？

若杉 お母さんが安心して、かつ集中して仕事ができる場所です。おととい来た双子ちゃん連れのご夫婦は、お母さんが育休、お父さんがフリーランス、家で仕事しなきゃいけないけど、なかなか集中できないと。

若杉さんご自身が3人の子どもを持つお母さんで、ご自身の経験のなかで、育児をしながらでも、キャリアダウンしない働き方を作ることが目標になったそうです。女性は妊娠の時期をキャリアと照らして、自分のタイミングで子どもができるか分からず、でも年を取ると子どもができにくくなる、そんな悩みを解決したいという思いです。

Q2 ビジネスプランコンテストへの出場を決意した経緯を教えてください。

若杉 「よろず支援拠点にビジネスプランのブラッシュアップ相談に行った時に紹介されました。よろず支援拠点に行ったのは日本政策金融公庫の女性起業家への無料相談会がきっかけです。当時はまだ店舗を作るのか、公民館を借りて始めるのか迷っていた時期でした。」

ビジネスプランコンテストで一次、二次と進むうちに、ビジネスプランがブラッシュアップされていたと語る若杉さん、この流れの中で、『託児付きコワーキングスペース』にプログラミングの『仕事を持ってくる』（業務受託）こともできたそうです。

Q3 子育て、お仕事を抱えながらの起業ですが、企画・準備時間を確保するコツがあれば教えてください。あまり寝てないとか？

若杉 「はい、まずあまり寝てないです（笑）。あとは子供たちのお昼寝の時間。他にもたとえば、考えながら料理して、考えたことをスマートフォンに打ち込んでの繰り返しです。それもビジネスプランコンテストが無かったら出来なかったですね。だらだらなっていたと思います。」



打合せスペース

事業計画はよろず支援拠点に相談、様々なアドバイザーに話を聞くなかで、それぞれ意見も違うし、そもそもニーズがあるのかと問われることや、反対意見を述べられることも。でもそういう中で、事業化への思いが高まっていったそうです。あとはご家族、特にご夫君が土日もなく、手伝ってくれました。

Q4 令和2年11月に個人事業「Ray-Gina AKIRA」（レイジーナアキラ）を起業されました。屋号に込めた思いはどのようなものですか？

若杉 3人の子どもの名前を連ねました。託児でお預かりする子どもたち＝自分の子どもたちという想いを忘れないように。事業をやっていくなかで、何かの判断に困ったときは、「子どもたちにとってどうか？」と考え続けたいと思いました。そして、自身の子どもの成長と共に育児とキャリアの両立の難しさ、乳幼児期の保護者の悩みや不安、「子どもたちは居心地が良いか」への思いが薄れてしまわないようにしたいと強く思っています。『初心忘るべからず』です。この事業では、自分の子どもたちを連れてくるならどうかという視点で作りましたし、今後もその視点で運営していきたいと思っています。

若杉さんは本音も少し漏らしてくれました。事業は利益が無いと運営できなくなる、初心もいずれ忘れてしまうと思うと。そんな時でも、託児に来る子どもたちを最優先にしたいから、この屋号に決めたそうです。そして、令和3年2月16日に無事開店、開店準備では、優先順位が高いことばかりで、事前にメモして、必要な買い物なども決めていたにもかかわらず、とにかく大変だったようです。あとはモチベーション、開店したいという思いと本当に開店して良いのかという不安に揺れました。

【託児付きコワーキングスペース】

Q5 託児付きコワーキングスペースの会員ターゲットはどのような方たちでしょうか？
託児を伴わない方の利用も受け付けているのですか？

若杉 託児しない方も受け付けています。店舗は託児付きですが、ママだけでなく色んな方が集まり、コミュニティができると良いなと思います。男性も来て頂きたいし、託児があるから独身の男性は入りにくいかもしれないけど、でも来て欲しいです。

ソフトウェア会社と提携し、受託した開発業務を希望する会員に業務提供するサービスも行っています。求めているのはプログラミング言語の Java（ジャバ）か C#（シーシャープ）ができる方。また VBA（バイビーエー）が出来て、今後本格的にプログラムを学びたい方には VBA の仕事をお渡ししつつ、Java や C# を学ぶということも可能だそうです。子どもを預けたい方のみならず仕事を探している方にも利用して頂きたいとのこと。

Q6 託児と仕事を両立する空間づくりとして、店舗設計に工夫されたことはどのような点ですか？

若杉 集中して仕事に取り組めるスペースと託児スペースをできるだけ離しました。あとは、託児スペースに窓を付けています。休憩時間に、ふと子どもの姿が見えると良いなと思います。託児スペースは保育士による託児サービスを行っています、いわゆる『キッズスペース』にせず、仕事に集中できるようにしています。



キッズスペース



若杉さん
窓の向こうはキッズスペース



コワーキングスペース



ドリンクバー



会議室 B（座卓）

今後、受託業務の幅も広げていきたいと語る若杉さん。コロナ禍や DX（デジタルトランスフォーメーション）推進の流れから、アナログデータのデジタル化委託が増えており、プログラマーのみならず、データ入力をするパンチャー業務や RPA（ロボティックプロセスオートメーション）の導入支援をするエンジニアの仕事も検討しておられます。プログラマー以外の方にも幅広く業務提供できそうです。

【起業支援金】

起業支援金は内装費にご使用頂きました。写真の通り、とても居心地の良い空間に仕上がっています。非会員様も、初回お試し 2 時間無料、その後 1 日からのご利用が可能です。見学も受け付けておりますので、お気軽にご利用くださいませ。
（起業支援コーディネーター 篠田 昌人）

【託児付きコワーキングスペース Ray-Gina AKIRA（レイジーナアキラ）】

住 所 福岡市南区井尻 4 丁目 2-45
（井尻商店街のダイソーさんとむっちゃん万十さんの間）

電話番号 092-586-9677

HP アドレス <https://raygina-akira.wixsite.com/home>

営業時間 平日と土曜日の 9 時から 17 時